

暮らし、雇用を守れと怒りのデモ行進

第81回メーデー上越集會



第81回メーデー上越集會とデモ行進が1日、市内の高田で行われました。

今年のメーデーは民主党政権に代わってから初のメーデーでした。大企業が雇用者報酬を削り、ため込んだ内部留保が230兆円近くにもなったことや、労働者派遣法が骨抜きにされたことから怒りの声が高まった集會となりました。最近、マスコミでも話題となっている青年ユニオンの人たちの姿も見られました。

デモ行進していた時、先導する車のスピーカーから突然、言葉をしばらくだすようにして、「後期高齢者医療制度はただちに廃止せよ！」という声が聞こえてきたのはびっくりしました。後期高齢者医療制度の廃止先送りや怒りを燃やす年金者組合メンバーのひとり、Sさん（80代女性）の声でした。

吉川産のコメなどの販売に行列

4月29日、吉川区と友好関係にある荒川区の「川の手荒川祭り」に初めて参加してきました

た。吉川区からはコメや山菜、チマキなどの特産品を大量に持ち込み、荒川区民の方々と交流してきました。

吉川区から参加したメンバーは東田中生産組合、杜氏の郷職員、JAえちご上越の職員など総勢15人。午前10時の開會から午後4時近くまでテントのひとつでひたすら物産の販売活動です。人気のトップは現地産のコメ、人の列が出来てお昼頃には売り切れてしまいました。採れたてのウドも早かったですね。それに続いたのは笹団子、チマキでしょうか。

すごいなと思ったのは現地販売スタッフのパワーです。自分の持ち場の物産販売が終了すると、他の物産販売の応援です。大きな声でお客様に声をかけ次々と売り込む姿は商人に負けません。私は酒類の販売担当でした。「よしかわ杜氏」の辛口、にがり酒などを持ち込みました。午後



後からは全員がこの販売で総力をあげました。立ちっぱなしだったので、終わった後、足がパンパンに張っていました。東京吉川会の平山会



よう釣り舞いに笑いの連続

川袋の神社で1日、恒例の神樂が行われました。獅子舞（写真）からはじまって鳥舞い、よう（魚）釣り舞いなど5つの舞いが披露されました。笑いがいっぱいの楽しい舞いでした

長や高倉さん、小泉さん、法政コメクラブの田中先生、安田さんなども駆けつけてくださった。懐かしい再会が実現できました。みんな、吉川区の応援に来てくださったのです。うれしかったですね。

シリーズ 上越市内の橋

第38回 森本橋



「森本橋」と書いて「もりもとばし」と読みます。保倉川にかかった橋。頸城区と旧上越市青野新田との境にあります。主要

地方道新井柿崎線のなかでは唯一、側道橋がついています。橋のそばには経済連の家畜市場施設があり、かつては「くびき牛」を求め業者がたくさん集まっていました。

橋長は約65m。竣工は1964年（昭和39年）の12月です。